新日軽

新富岳陸屋根 施工マニュアル

この度は、新日軽の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
正しい施工をしていただく為このマニュアルをお読みください。
施工完了後はお施主様へお渡しください。

施工上の注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

①モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれていますから、アルミの腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。

②モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中にアルミの表面に流れない様にご注意してください。

③モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるので、その使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、硅酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。

④施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取り扱いには十分注意してください。

⑤アルミ製品等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。

⑥腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施行上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

⑦寒冷地では柱を立ててからモルタルを詰めてください。モルタルを入れてから柱を立てますと、柱内部に水が入り凍結破損の原因となります。

⑧養生期間は十分（5日以上）とってください。養生中は動くことの無いようにご注意ください。

⑨錠・オートクローザなど他金物の取付けは、各梱包内のマニュアルをご参照ください。

⑩施工終了後は扉の開閉チェックを行い、不具合が無いか確認してください。

⑪みだりに改造しないでください。

この手引き書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意　味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。	❗	「必ず行っていただくこと」を示しています。

「梱包部品リストと施工前の確認」・「納まり図と門柱寸法」の章をお読みいただいた後で、施工作業を開始してください。

⚠注意

- **各ボルト・ビス類は確実に締付けてください。**
- **無理にボルト・ビスを締付けないでください。破損の原因となります。**

※このマニュアル内のイラストは「右勝手・内開き」を表わしています。

梱包部品リストと施工前の確認

●開梱時に下記の品物がそろっているか確認してください。万一欠品などございましたら、お買い上げの販売店・最寄りの営業所までお申しつけください。

規格拾い出し表

表内の数字は個数を表わしています。

梱包名称			両開き	通用門R	通用門L	電気錠 両開きR	電気錠 両開きL	電気錠 通用門R	電気錠 通用門L	備考
陸屋根A	両開き用		1			1	1			※1
陸屋根B	通用門用R			1				1		※1
陸屋根B	通用門用L				1				1	※1
門扉			2	3	3	2	2	3	3	
陸屋根角門柱	吊元R	16(18)	1	1	1		1		1	※1
	吊元L	16(18)	1	1	1	1		1		※1
陸屋根角門柱	吊元電気錠R	16(18)				1		1		※1
	吊元電気錠L	16(18)					1		1	※1
陸屋根中門柱	R	16(18)		1				1		※1
	L	16(18)			1				1	※1
標準錠	片開き			1	1					※2
	両開き		1	1	1			1	1	※2
錠電気錠	片開き							1	1	※2
	両開き					1	1			※2
落し受けツボ	片開き			1	1			1	1	
	両開き		1	1	1	1	1	1	1	
オートクローザ	R		①	1		1		1		※3
	L		①		1		1		1	※3
開き止めバンパー			1	1	1	1	1	1	1	

※1：下記「梱包部品明細」参照。　※2：錠のマニュアル参照。
※3：オートクローザのマニュアル参照。①は左右どちらかが梱包されています。

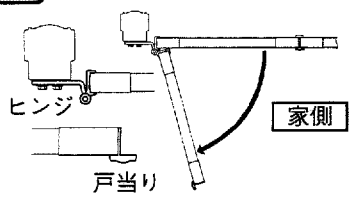
梱包部品明細

戸当りセットは多く梱包されていますので、不要となるものがあります。

部品名称	部品番号	個数			備考
		陸屋根角門柱	陸屋根中門柱	陸屋根A・B	
ヒンジセット45	SK-1274-01/02	1	1		H=1600は2個入り、H=1800は3個入り
戸当りセット		1	1		2本、ビスセット（SB-1539-01）がテープ止め
ヒンジカバー		1	1		1本、ビスセット（SB-1539-02）がテープ止め
隙間塞ぎ材		2			2本、ビスセット（SB-1539-03）がテープ止め
陸屋根門柱上部キャップセット	NSE-118	1	1		ビス入り
雨樋セット				1	位置決めアンカー・ビス・ボルト入り

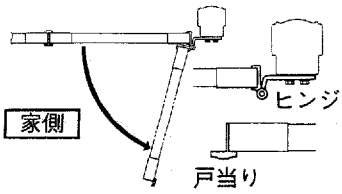
内開き

●右勝手



ME1369-15

●左勝手

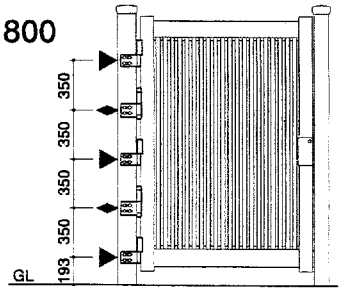


ME1369-16

ヒンジとオートクローザの位置確認

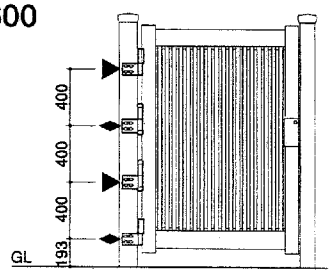
▶ ヒンジ
◆ オートクローザ
（両開きの場合は施錠側に取り付きます。）

●H=1800



ME1369-19

●H=1600



ME1369-20

両開き

雨樋セット(P.8)
陸屋根(P.7～P.9)
ヒンジカバー(P.11)
隙間塞ぎ材(P.5・P.11)
門扉(P.6・P.9)
戸当りセット(P.11)
上部キャップセット(P.7)
ヒンジセット(P.5・P.6・P9)
オートクローザ台座 (P.5)
吊元門柱
開き止めバンパー(P.12)
錠
※( )内は取付け・調整の説明ページを表わしています。
落し錠(P.10)
位置決めアンカー(P.8)
[雨樋セット内]
落し受けツボ(P.10)
ME1369-01

通用門付

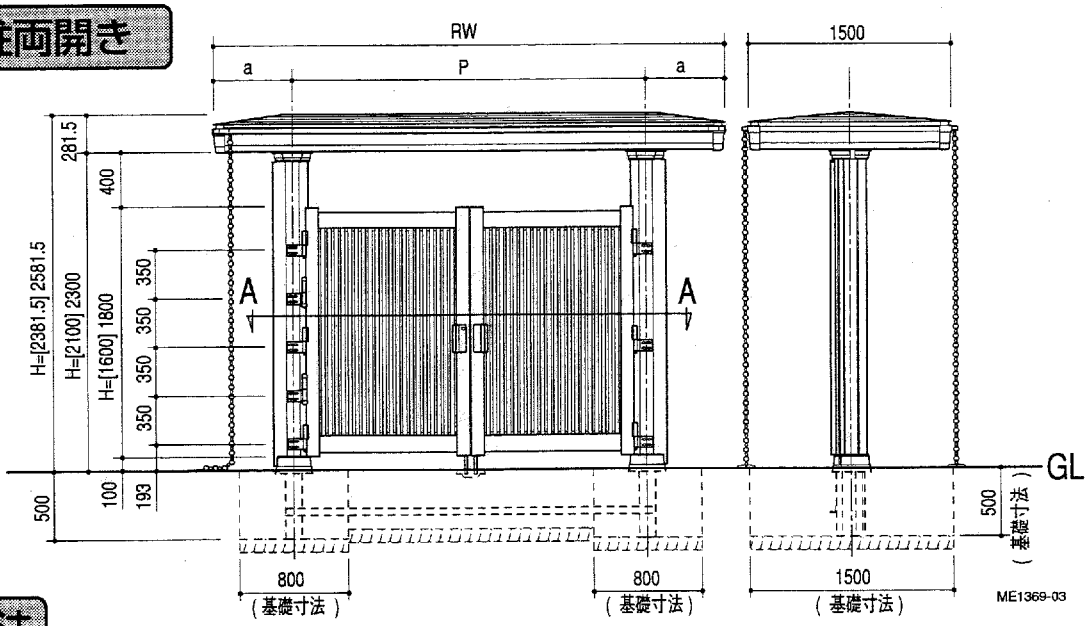
雨樋セット(P.8)
陸屋根
(P.7～P.9)
吊元門柱
ヒンジカバー(P.11)
隙間塞ぎ材(P.5・P11)
門扉
(P.6・P.9)
戸当り
セット(P.11)
上部キャップセット
(P.7)
中門柱
ヒンジセット
(P.5・P.6・P9)
オートクローザ台座 (P.5)
電気錠(P.5・P.6・P.12)
開き止めバンパー
(P.12)
落し受けツボ(P.10)
落し錠(P.10)
位置決めアンカー(P.8)
[雨樋セット内]
ME1369-02

※( )内は取付け・調整の説明ページを表わしています。

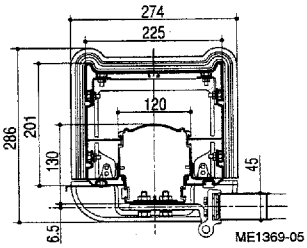
納まり図と門柱寸法

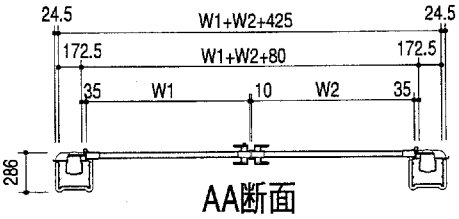
●W=門扉巾寸法、H=門扉高さ寸法、[ ]はH=1600用を示しています。
●下記納まり図はH=1800の内観図です。

角門柱両開き



門柱寸法

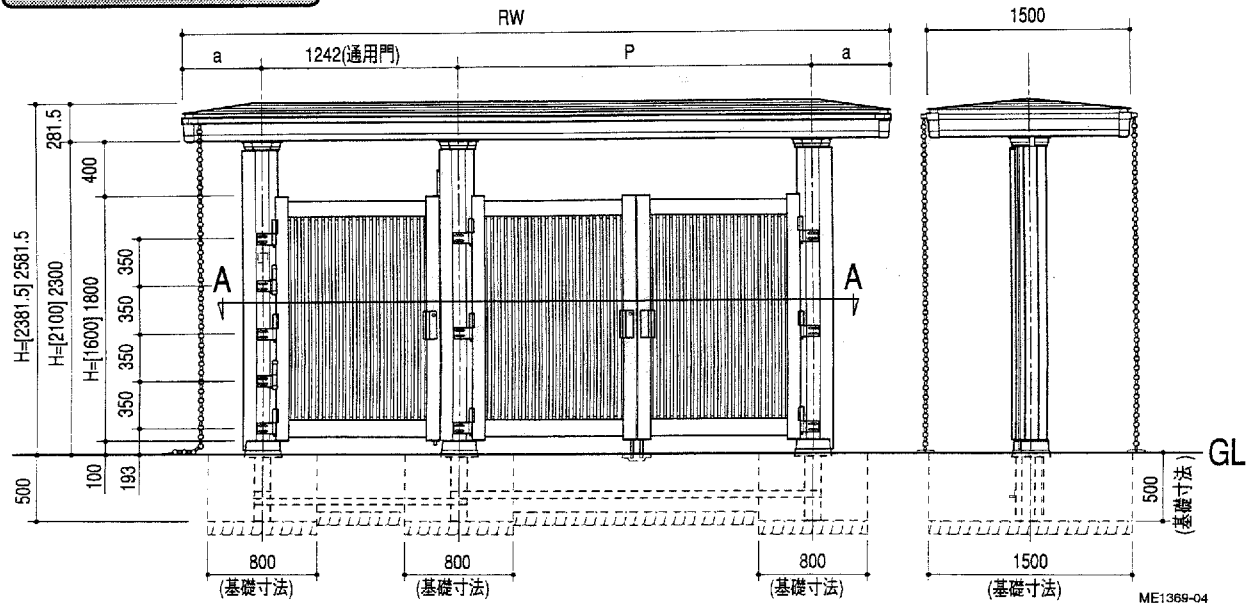


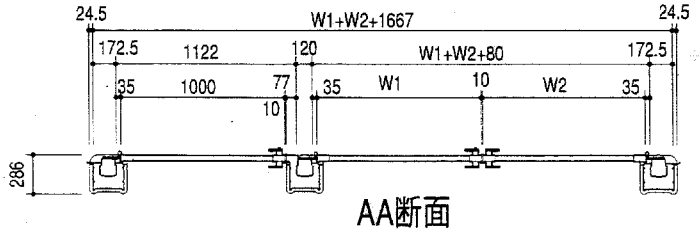


名称	RW(屋根巾)	P(ピッチ)	a	屋根重量(kg)
新富岳陸屋根 A型 20, 20門灯用	3370	2200	585	133
新富岳陸屋根 A型 22, 22門灯用		2400	485	
新富岳陸屋根 A型 24, 24門灯用	3770	2600	585	143
新富岳陸屋根 A型 26, 26門灯用		2800	485	
新富岳陸屋根 A型 28, 28門灯用	4170	3000	585	153
新富岳陸屋根 A型 30, 30門灯用		3200	485	

門柱タイプ	門柱重量(kg)
陸屋根角門柱H16	55
陸屋根角門柱H18	62
陸屋根中門柱H16	57
陸屋根中門柱H18	64

角門柱通用門付



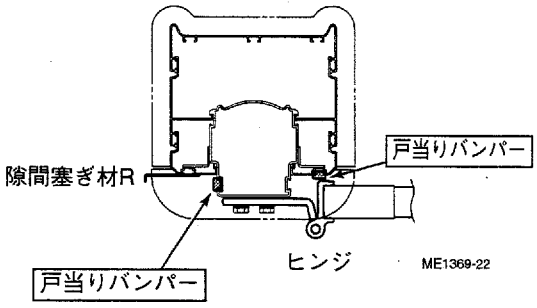


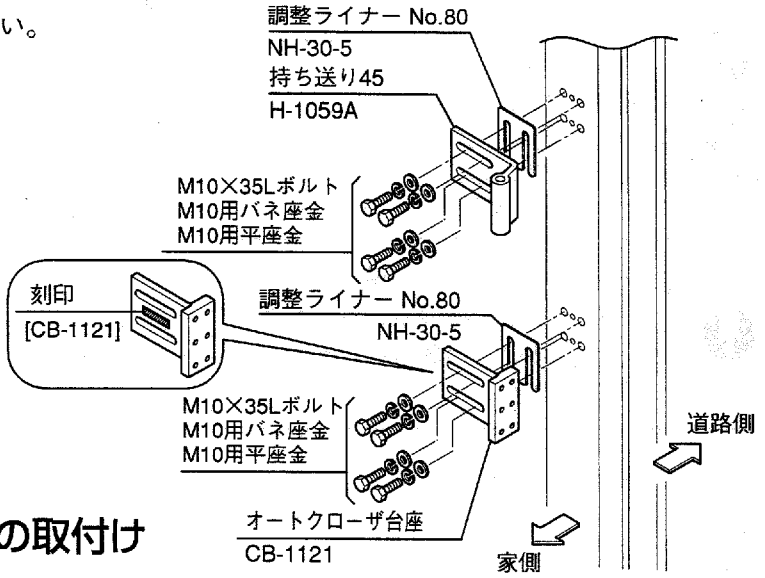
名称	RW(屋根巾)	P(ピッチ)	a	屋根重量(kg)
新富岳陸屋根 B型(R/L) 20, 20門灯用	4595	2200	576.5	175
新富岳陸屋根 B型(R/L) 22, 22門灯用		2400	476.5	
新富岳陸屋根 B型(R/L) 24, 24門灯用	4995	2600	576.5	185
新富岳陸屋根 B型(R/L) 26, 26門灯用		2800	476.5	
新富岳陸屋根 B型(R/L) 28, 28門灯用	5395	3000	576.5	195
新富岳陸屋根 B型(R/L) 30, 30門灯用		3200	476.5	

1 門柱部品の取付け

1−1 ヒンジ(持ち送り)の取付け

①ヒンジが家側にくるように取付けてください。
・左右を間違えないように注意してください。



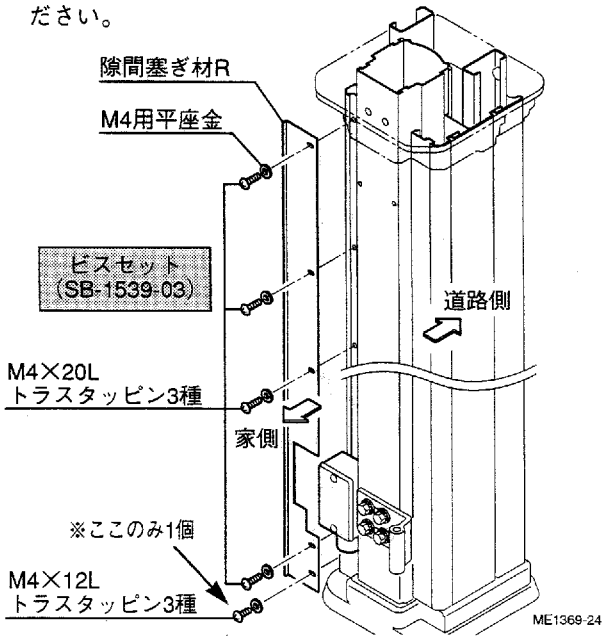


1−2 オートクローザ台座の取付け

①[CB-1121]と刻印されている面が見える（家側）ように取付けてください。
・オートクローザ無しの場合は、取付け位置に捨てボルトを取付けてください。(捨てボルトはヒンジセットに梱包されています。)
・オートクローザの取付けは、門扉を吊込み後、行います。
詳細は、オートクローザのマニュアルを参照してください。

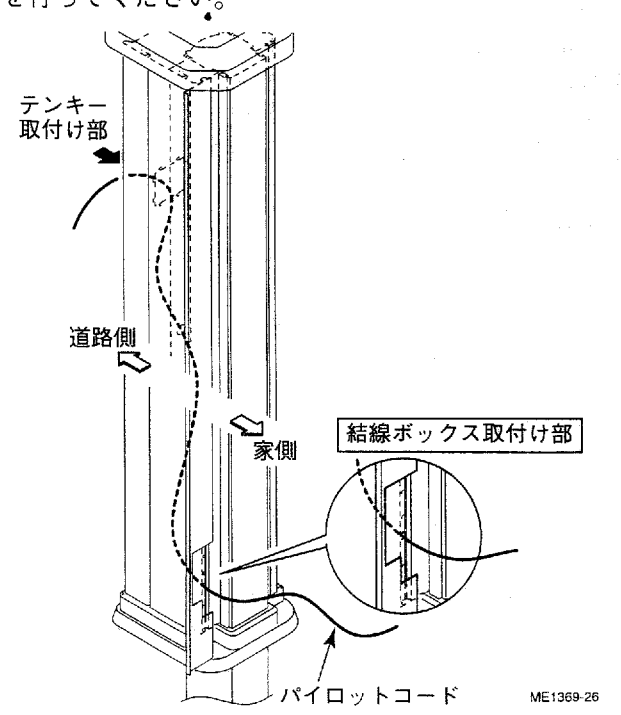
1−3 隙間塞ぎ材の取付け

①あらじめ取付けられているビスを取外し、ビスセットを使用して、取付けてください。
・門扉の反対側の取付けてください。
・結線ボックスが不要な場合は、結線ボックスを取外してから隙間塞ぎ材を取付けてください。
結線ボックスの取外しは12ページを参照してください。



1−4 テンキー用の配線

①テンキー取付部と結線ボックス取付部にパイロットコードが配線してあります。
このパイロットコードを利用してテンキー等の配線を行ってください。



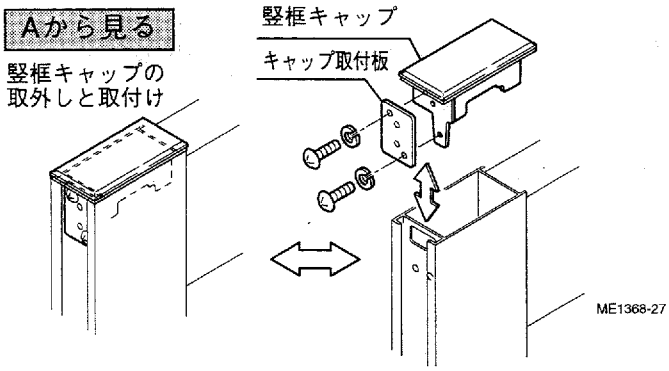
2 門扉部品の取付け

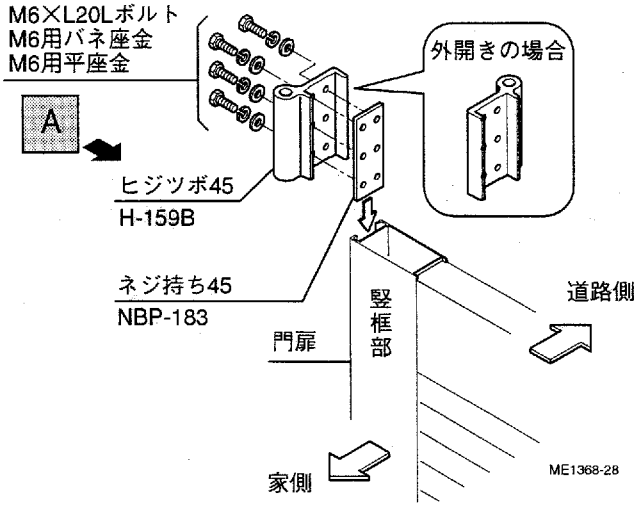
落し棒の高さを調整するため、戸当りは門扉の吊込み後、取付けてください。

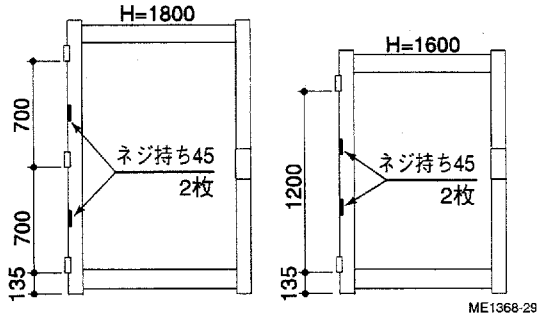
2−1 ヒジツボの取付け

・門扉の取付方向を確認して、吊元側にヒンジを取付けてください。
・取付け位置は持ち送りに合わせてください。
①門扉上部の竪框キャップを取外してください。
②ネジ持ちを竪框部に挿入してください。
③ヒジツボをネジ持ちに取付けてください。

オートクローザ有りの場合は、オートクローザ梱包内のネジ持ちを挿入してください。門扉の吊込み後は挿入できません。





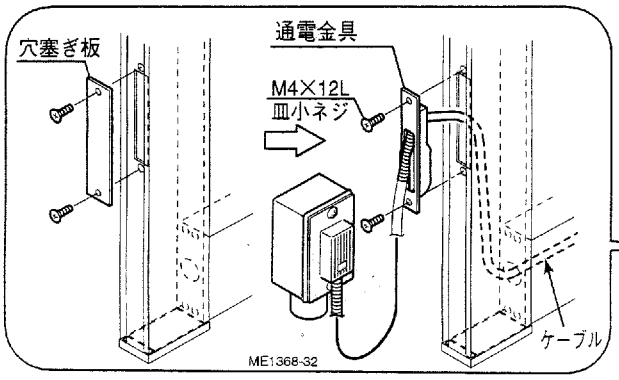


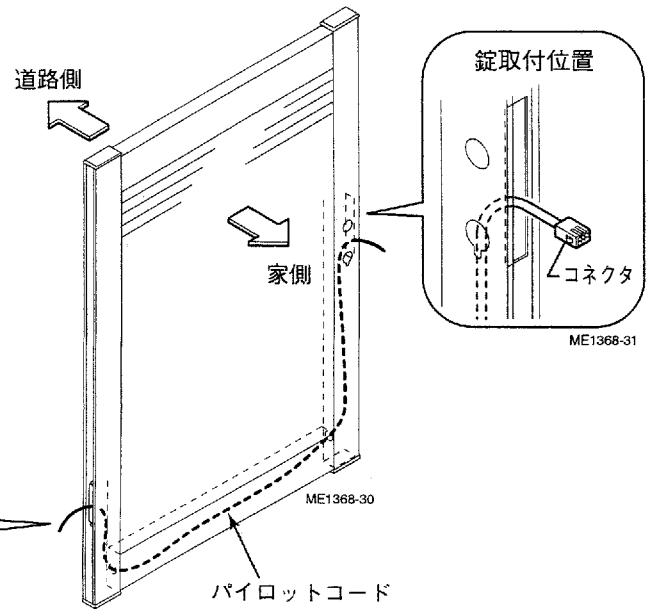
④竪框キャップを取付けてください。

2−2 通電金具の取付け（電気錠）

角門柱電気錠

①門扉吊元側の穴塞ぎ板を、取外してください。
②框内のパイロットコードを利用して、通電金具のケーブルを錠取付位置まで配線してください。
③ケーブルのコネクタを錠取付用角穴から出しておいてください。
④通電金具を門扉に取付けてください。
・錠の取付けは、錠のマニュアルを参照してください。





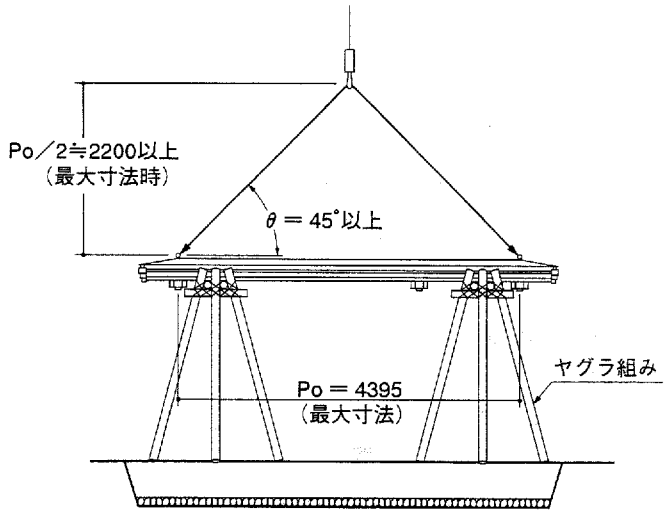
3 陸屋根と門柱の設置

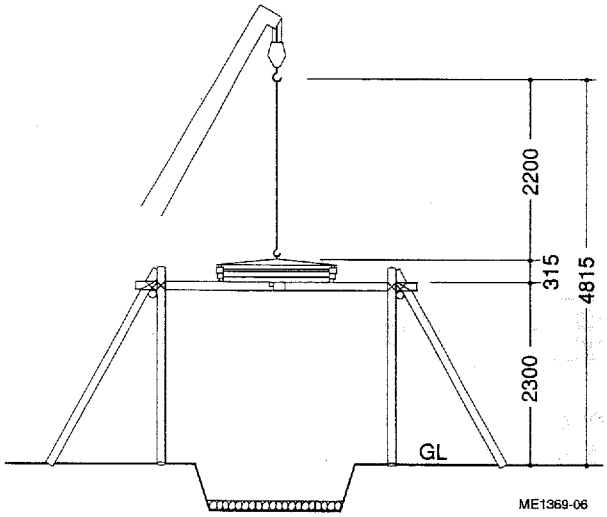
⚠注意
門柱の埋め込みは、レベル合わせを正確に行ってください。
扉の吊込みができなかったり、施錠不良の原因になります。

3−1 陸屋根の設置

①基礎部、根切り、割栗地業しを行ってください。
②陸屋根設置用ヤグラ組みを設置してください。
③クレーンにより陸屋根を吊上げ、ヤグラ上に設置してください。

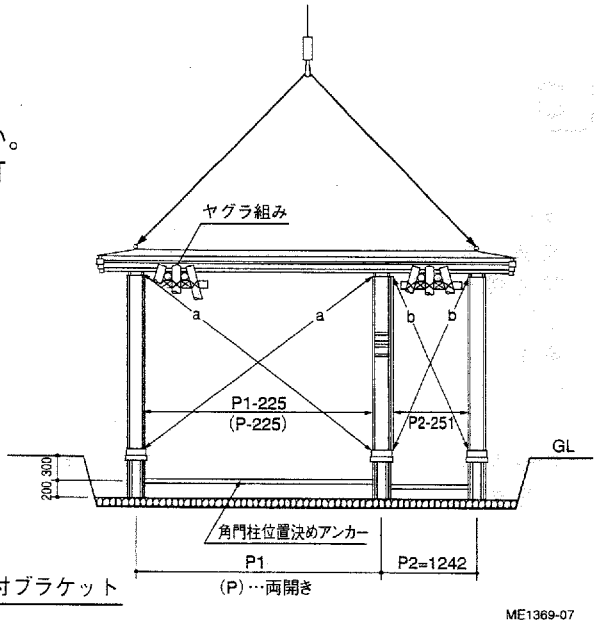
⚠注意
吊上げワイヤーの角度は、図のようにθ=45°以上の角度になる長さのワイヤーを使用してください。

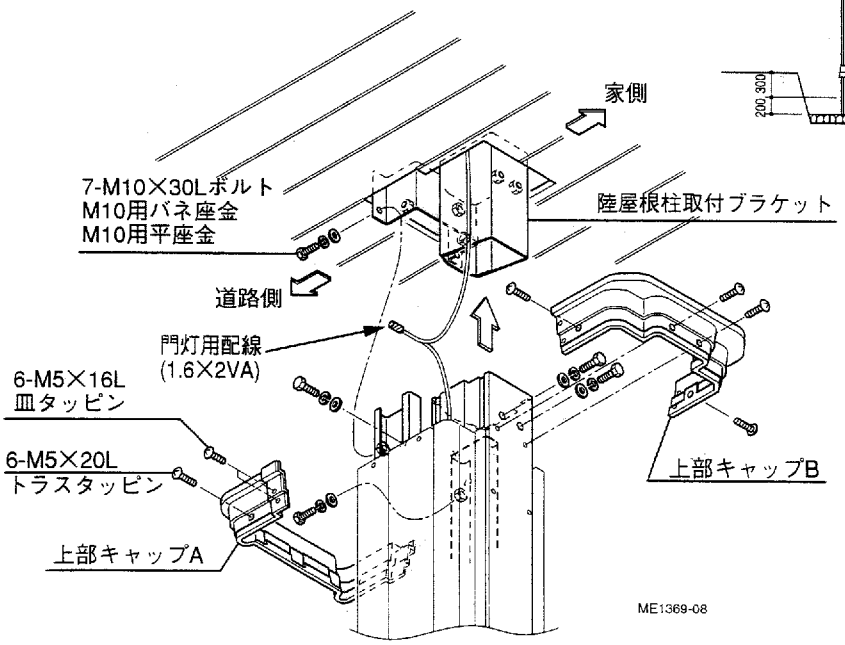




3−2 角門柱の設置

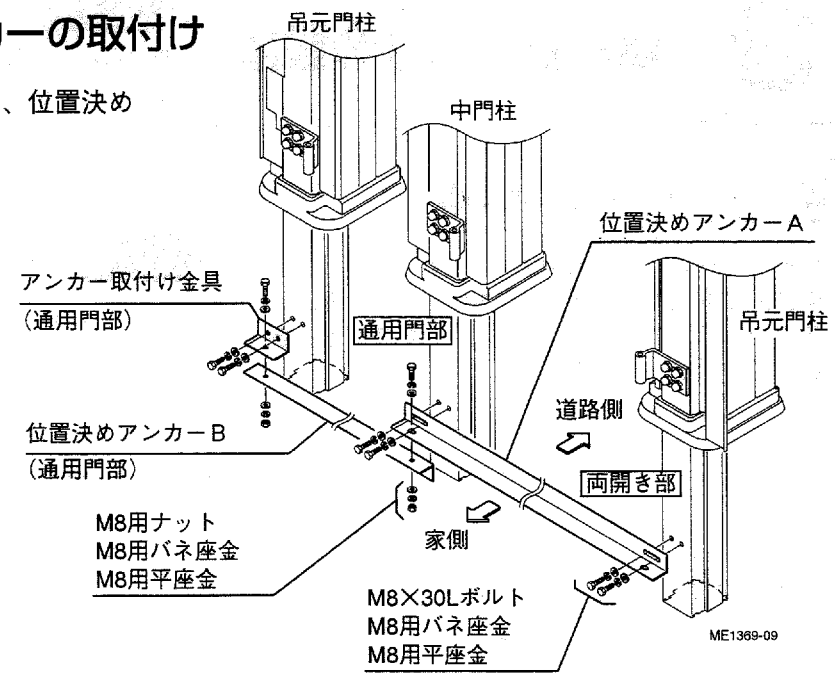
①陸屋根柱取付ブラケットに、門柱を取付けてください。
②陸屋根と門柱の水平・垂直を測定し、位置を固定してください。
③門灯取付けの場合は、上部キャップを取付ける前に、門灯用配線を内線規程に基づいて結線してください。
④上部キャップA・Bを取付けてください。





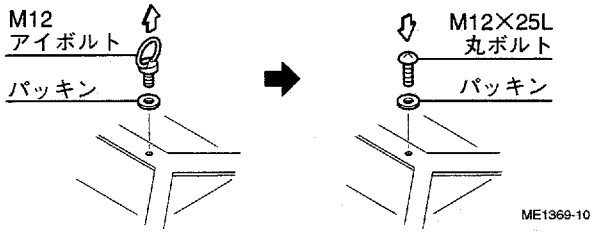
3−3 位置決めアンカーの取付け

①陸屋根と門柱の水平・垂直を確認後、位置決めアンカーを取付けてください。



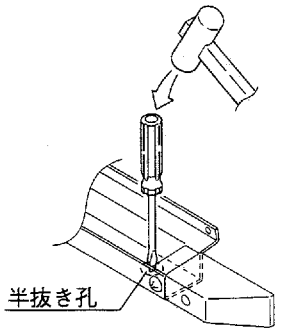
3−4 陸屋根吊上げ用アイボルトの取外し

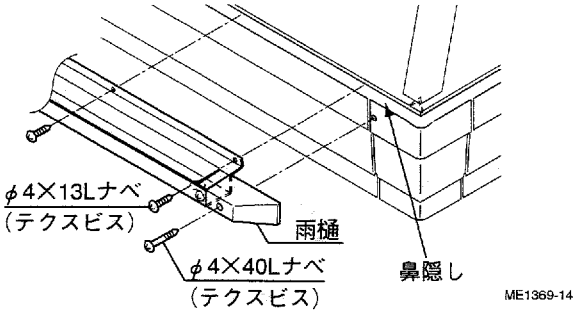
①陸屋根と角門柱の固定後、クレーンのワイヤーを外してください。
②アイボルトを取外し、丸ボルトとパッキンを取付けてください。

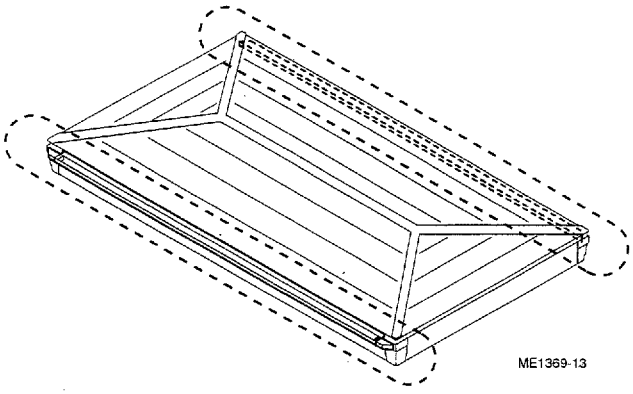


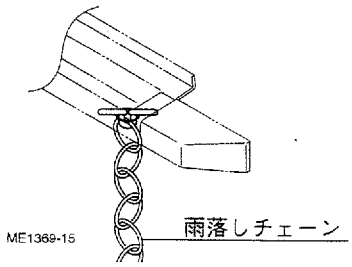
3−5 雨樋の取付け

①水勾配の向きを決め、雨樋端部の半抜き孔をドライバー等で打ち抜いてください。
②雨樋の水勾配は10mm取れます。
打ち抜き孔を水勾配の下側にして、テクスビスで取付けてください。
・鼻隠しに雨樋を当て、テクスビスを雨樋の孔に合わせて、電気ドライバーで強く押しつけ回転させると、ネジ止めができます。
③雨樋を取付けたら、打ち抜き孔に雨落しチェーンを吊下げてください。



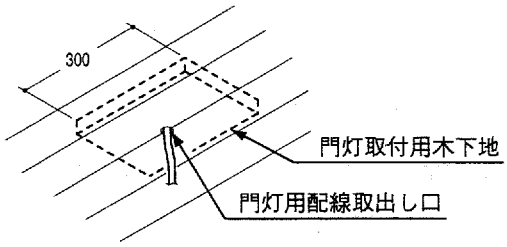




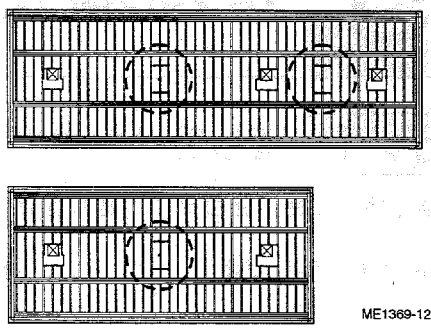


3−6 門灯の取付け

①配線取出し口部の門灯取付用木下地（300×90×9t）にドリルで下穴を開け、木ネジで門灯を取付けてください。



●見上げ板状図



4 門扉の吊込み

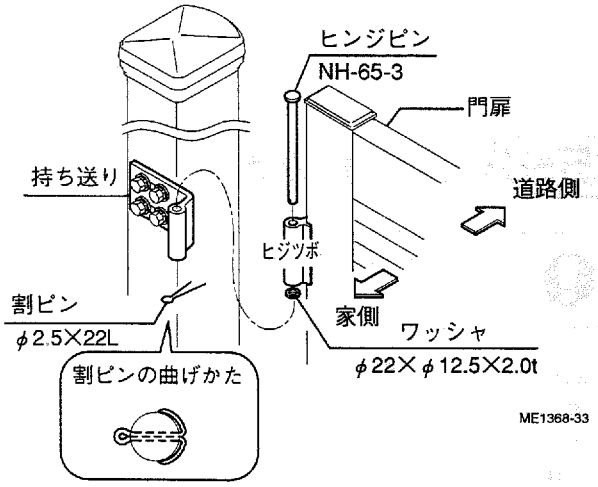
4−1 門扉の吊込み

①ヒジツボを持ち送りの上に載せ、ヒンジピンを差込み、割ピンで固定してください。

> **ヒジツボと持ち送りの間にワッシャを忘れないでください。**

⚠注意

割ピンをヒンジピンに差込み後、必ず先端部をペンチなどで、出っ張りのないように曲げてください。
突出したままにしておくと、危険です。



・オートクローザ有りの場合はオートクローザのマニュアルを参照してください。

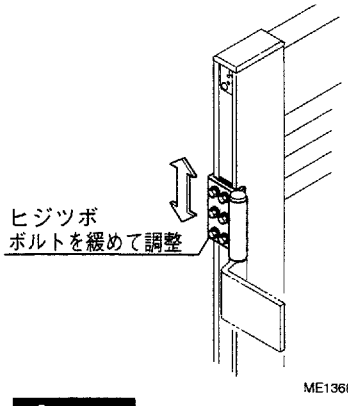
4−2 ヒンジの調整

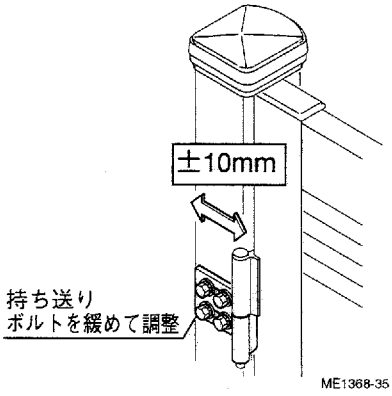
各基準寸法や門扉の水準などがそろっているか確認・調整してください。

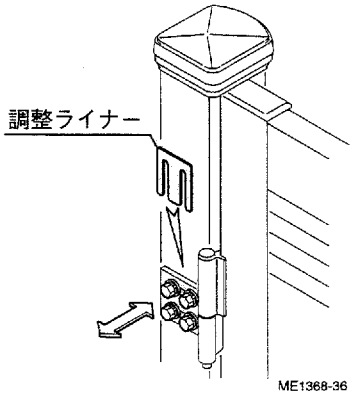
●上下調整
ヒジツボのボルトを緩めて調整してください。

●左右調整(調整巾±10mm)
持ち送りのボルトを緩めて調整してください。

●前後調整(調整巾2〜4mm)
調整ライナーを抜差して調整してください。







⚠注意

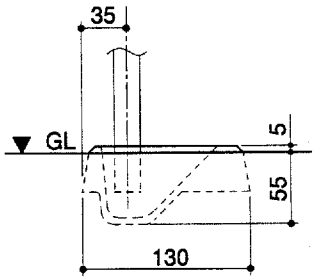
調整が完了後、ボルトを締付け、ヒンジを確実に固定してください。

5 吊込み後の作業と調整

5−1 落し受けツボの埋込み

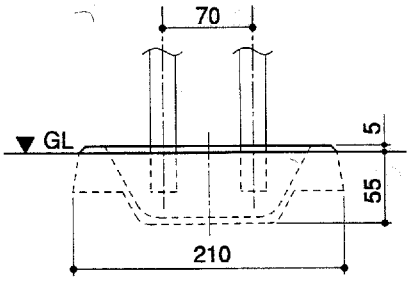
①落し棒の位置に合わせて、落し受けツボを埋込んでください。

●片開き用受けツボ



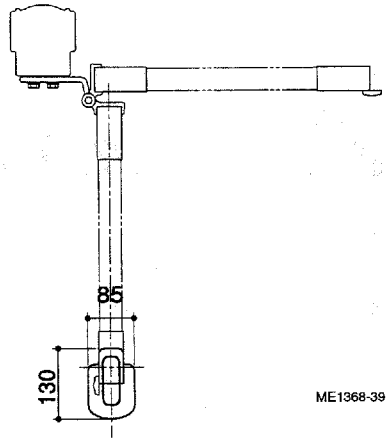
ME1368-37

●両開き用受けツボ



ME1368-38

●門扉開き時固定用受けツボ

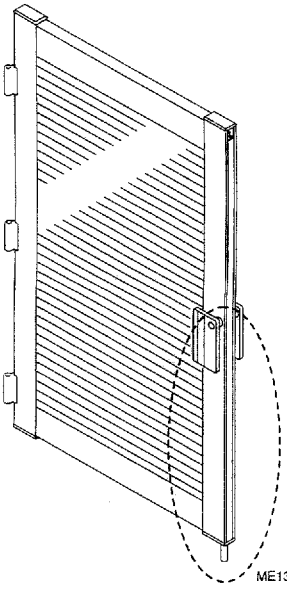


ME1368-39

5−2 落し錠の調整

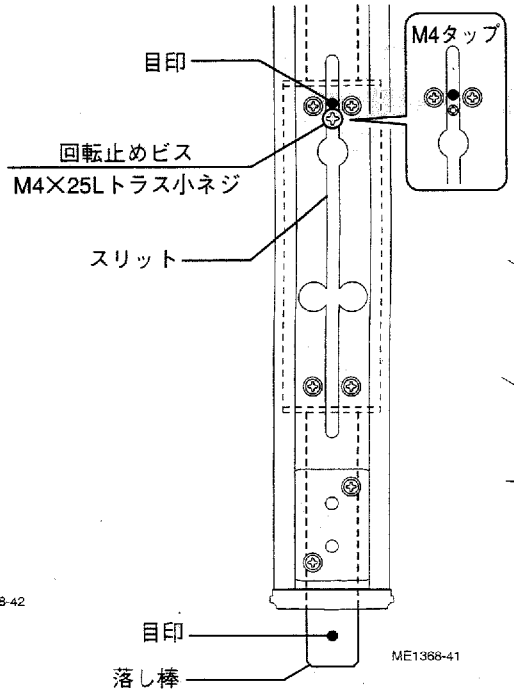
戸当りを取り付ける前に行ってください。

①回転止めビスを取外してください。
②落し錠を手で下げてください。
③下記の点に注意して落し棒を手で回し、高さを調整してください。
・落し受けツボとのガタがないように。
・落し棒のタップ位置（回転止めビス位置）と下部に目印があります。
・この目印が竪框のスリット中央になるように、落し棒を回してください。
④高さ調整後、回転止めビスを元の位置に取付けてください。

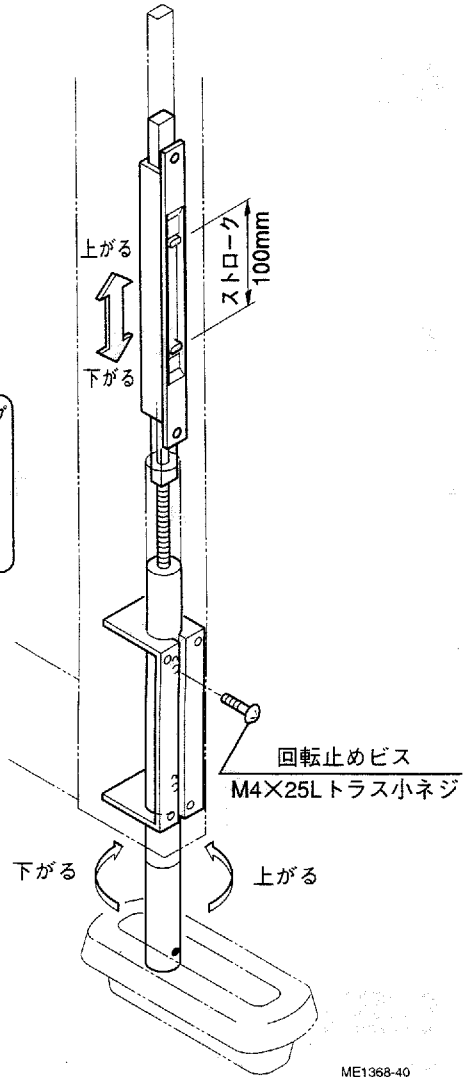


ME1368-42

●錠が上がっている状態



ME1368-41



ME1368-40

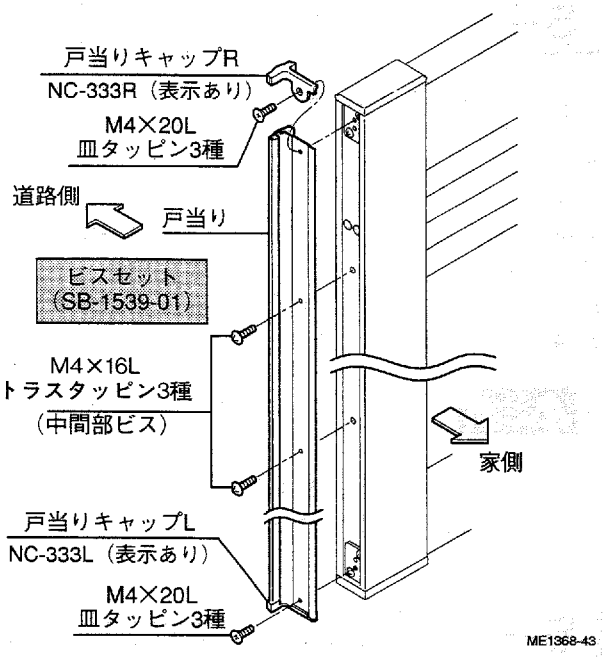
5−3 戸当りの取付け

落し錠の調整後、取付けてください。

①戸当りには勝手があります。
勝手を確認後、ビスセットを使用して、戸当りを取付けてください。

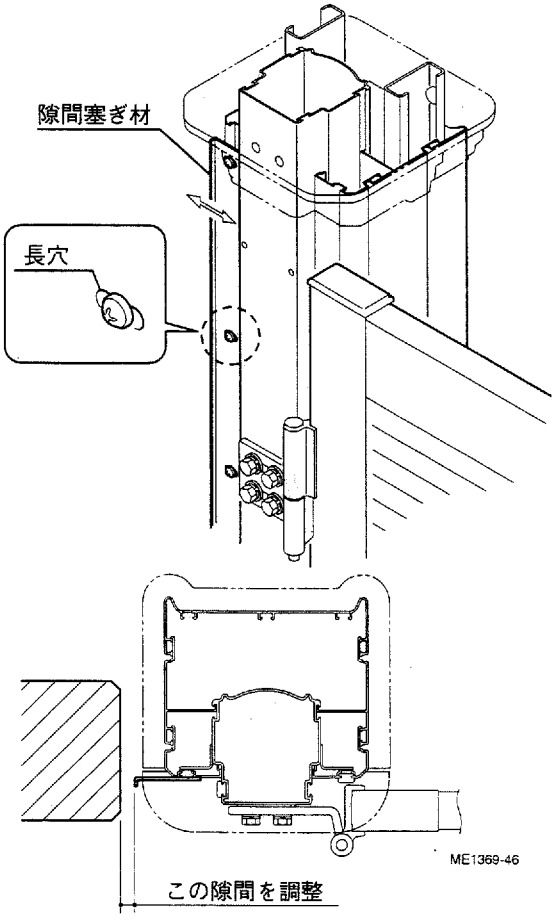
戸当りセットは左右2セットずつ梱包されていますので、不要となるものがあります。

・ビスセット内の皿ネジは上下の戸当りキャップ部に使用してください。



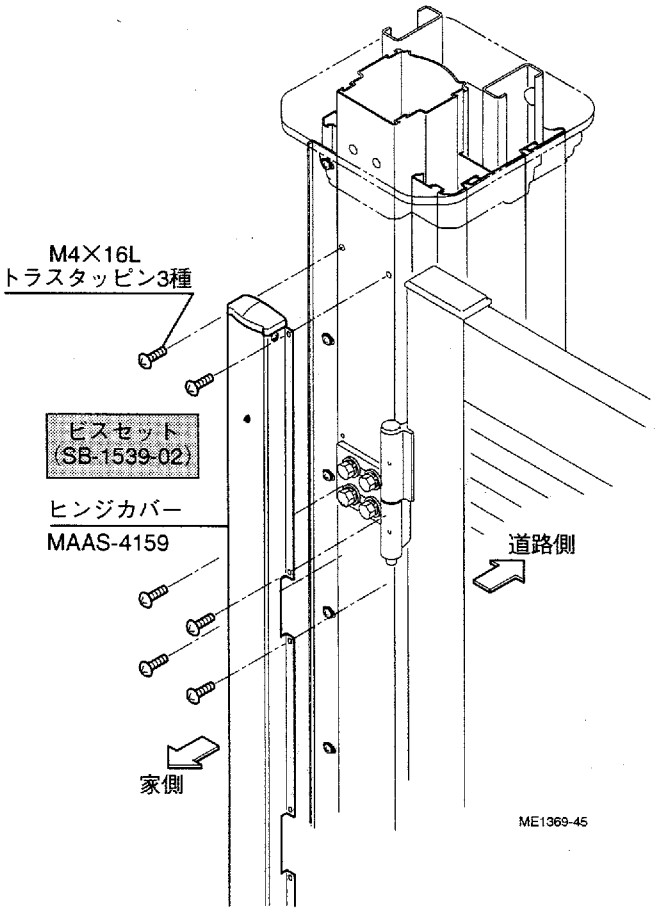
5−4 隙間塞ぎ材の調整

① 1−3 で取付けた隙間塞ぎ材のビスを緩め、長穴を利用して隙間を調整してください。



5−5 ヒンジカバーの取付け

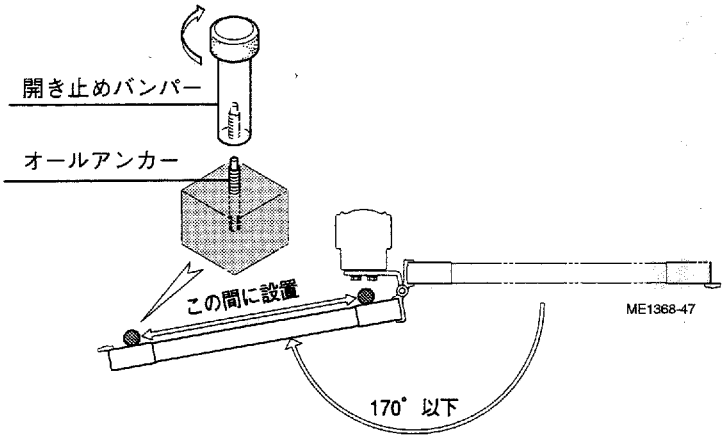
①ビスセットを使用して、ヒンジカバーを取付けてください。



5−6 開き止めバンパーの設置

オートクローザ取付扉

扉を180°以上開くと、オートクローザが破損します。
破損を防ぐために、開き止めバンパーを設置してください。
扉開き角度170°以下で通行等を妨げない任意の場所に取付けてください。



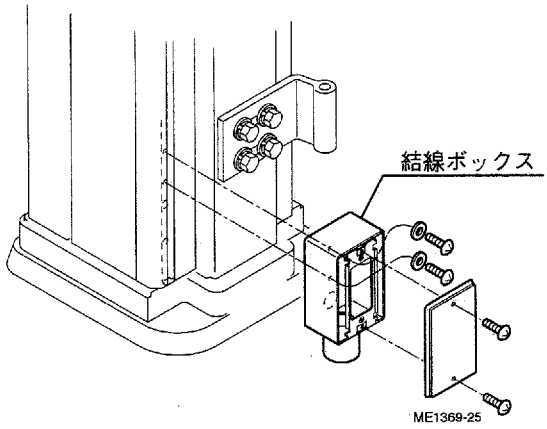
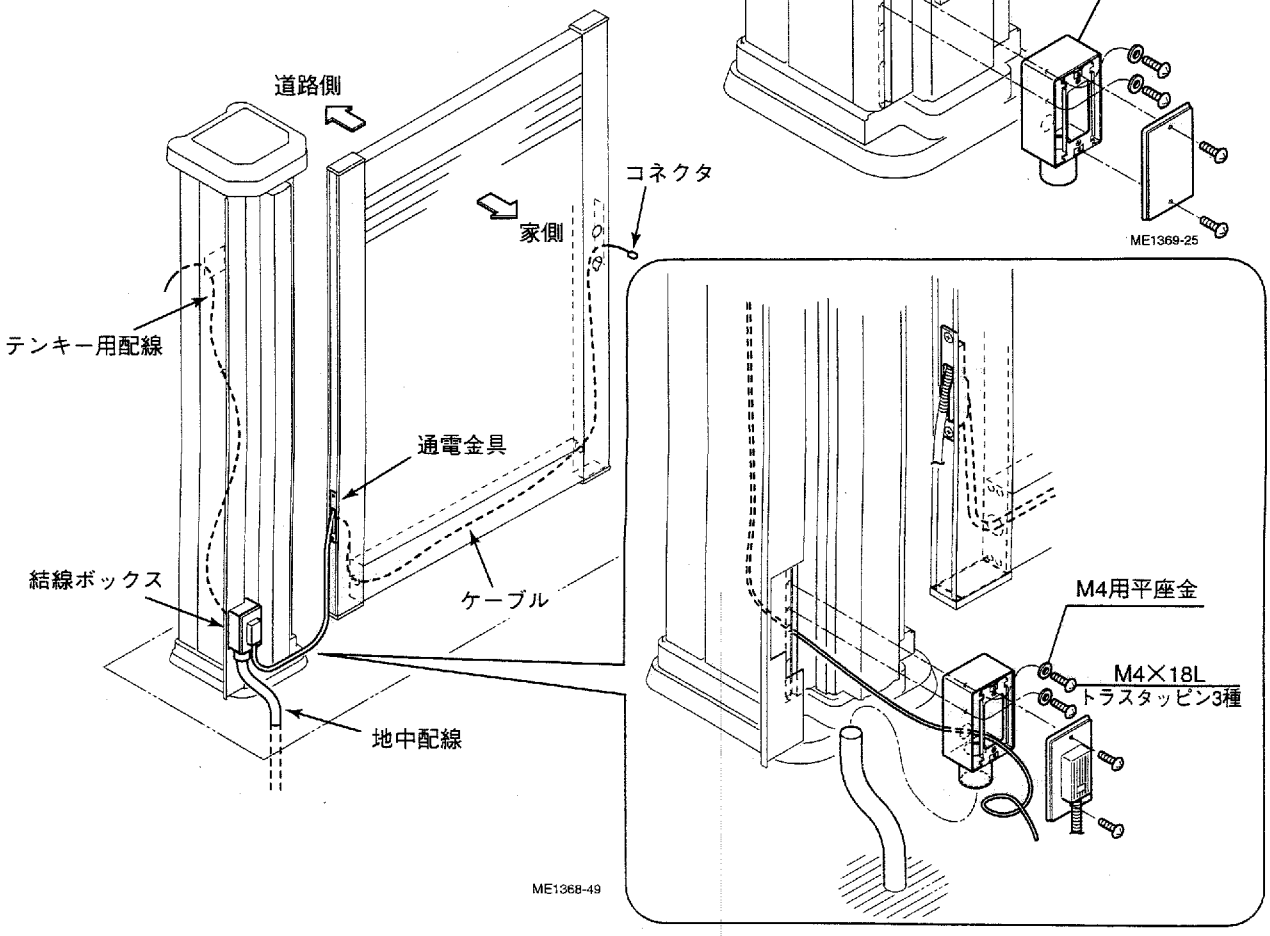
⚠注意

GLより120mm突起しますので、つまずいたりしない場所に設置してください。

5−7 結線ボックスの取外しと取付け

電気錠用結線ボックスの取付け

①地中配線を500mm程度立ち上げておいてください。
②結線ボックスを角門柱に取付けてください。
③テンキー用配線を・地中配線を図のように配線してください。
・結線についての詳細は、テンキーおよび制御盤のマニュアルを参照してください。

既存結線ボックスの取外し

①すべての門柱に結線ボックスが取付けてあります。不要な場合は、結線ボックスを取外してください。